

■ 人間生活学科のアドミッションポリシー

■ 学科のめざしているもの

本学科では、「人間」「福祉」「生活」「環境」「文化」をキーワードに、それぞれの研究分野で自由で豊かな人間生活を探究していきます。バランスの取れた幅広い教養を身につけ、社会に求められるジェネラリストの養成をめざす学科ですが、社会福祉士の国家試験受験資格や中学校教諭(家庭)・高等学校教諭(家庭・福祉)の免許など多彩な免許・資格の取得も可能です。

■ 上記の教育目標をかかげて、人間生活学科ではこのような人を求めています

(1)人間の生活を多方面から学んでさまざまな知識を身に付け、社会の変化に柔軟に対応できる思考力・実践力を養いたい人を求めています。

(2)人と人との関わり、人とモノとの関わりを学ぶことを通して、人間としての生き方を深く考えてみたい人を求めています。

(3)じっくりと時間をかけて、自分の力で本当の自分のよさを見つけ、自分の可能性を高めたい人を求めています。

■ そのために、高校での学習内容については、次のことを求めています

人間の生活という、幅広い領域を探究していくうえでは、あらゆる知識が役立ってきます。高校の学習では、すべての授業が人間の生活とその豊かなあり方に結びついてきます。幅広く関心を持って学ぶことが有用です。

■ 児童学科のアドミッションポリシー

■ 学科のめざしているもの

本学科は、子どもたちの幸せを願い、子どもと子どもを取り巻く環境について幅広い分野の専門的知識を学びます。少人数の演習授業をはじめ、学生と教員でのコミュニケーションを深めることで、専門的知識とともに豊かな人間性を磨き、社会のさまざまな場面での教育・福祉に貢献できる人材の育成をめざしています。

■ 上記の教育目標をかかげて、児童学科ではこのような人を求めています

- (1) 広く社会問題に関心を持ち、自ら考え、学ぶ意欲や向上心がある人を求めています。
- (2) 自然・社会体験活動などに積極的に参加し、自ら人格形成に努めようとする人を求めています。
- (3) 自己表現力、感性が豊かであるとともに、相手の立場になって物事を考え、行動できる人を求めています。

■ そのために、高校での学習内容については、次のことを求めています

子どもという大きな存在を理解するうえで、また教員・保育士としてあらゆる側面から子どもの成長に貢献するうえでは、幅広い知識が求められます。文系、理系といった枠組みにとらわれることなく、高校の授業全般に興味をもって学ぶことが必要です。

■ 食品栄養学科のアドミッションポリシー

■ 学科のめざしているもの

本学科では、リベラル・アーツ・カレッジとしての本学の性格を大切にしながら、人間性豊かな、総合力のある管理栄養士の養成をめざしています。入学直後のキリスト教科目や教養科目は人間についての根本的な理解を深め、さらに人や栄養に関する医学や生命科学を学び、栄養の専門家としての礎を築きます。そして、現場での実践力を鍛えるために、さまざまな応用・臨床系の専門科目を勉強します。これらのカリキュラムを履修することにより、自ら学ぶ姿勢を修得し、人間としてバランスの取れた管理栄養士の養成を行います。

■ 上記の教育目標をかかげて、食品栄養学科ではこのような人を求めています

食を通して人々の健康に奉仕し、また、病気からの回復を促すのが管理栄養士の職務です。本学科では、人間や栄養に関する科学に興味をもち、人と積極的に関わり、人間を理解しようとする気持ちをもった学生の入学を期待しています。

■ そのために、高校での学習内容については、次のことを求めています

管理栄養士としての専門性を修得するうえでは、理科系の科目が重要になることはもちろんですが、豊かな人間性を伸ばしていくうえでは、高校でのさまざまな科目が役立ってきます。高校の授業を偏りなく学習しておいてください。